

令和5年1月18日
独立行政法人国立科学博物館

世界初公開のランも！？つくばで世界の珍しいラン約500点を ご覧いただけます

～企画展「つくば蘭展」開催のご案内～

国立科学博物館 筑波実験植物園（園長：細矢剛）では、1月22日（日）～1月29日（日）につくば蘭展を開催します。

世界有数の野生ラン保全施設である筑波実験植物園が保有する「つくばコレクション」から、開花中の貴重な野生種を約200点、さらに協力団体の方々が丹精込めて育てた、普段見ることのできない最新の園芸品種、そして失われつつある貴重な古典品種などを約300点、計約500点を公開します。また今回は「まぼろしの青い蘭」をテーマに、当園でこれまでに咲いた貴重な青い野生ランの写真を展示するとともに、ツユクサの遺伝子を導入して開発した幻想的な青いランを世界初公開します。さらに花王株式会社との共同研究による、東南アジアの森で見つかった小さな野生ラン、アデノンコスの香り成分研究から製品が生まれるまでのストーリーを紹介します。

本事業を通して、ラン科植物の織りなす驚異的な多様性を楽しんでいただくとともに、当園が取り組む生物多様性の研究と絶滅のおそれのある植物の保全について、ご理解いただければ幸いです。【筑波実験植物園 URL：<https://www.tbg.kahaku.go.jp/>】

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：田中庸照

担当研究員：遊川 知久（植物研究部 多様性解析・保全グループ長）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <https://www.kahaku.go.jp/>



当園で咲いた青い野生ラン、デンドロビウム・パーヴルム・ミニツム (*Dendrobium parvulum subsp. minutum*)。1997年、南太平洋の島国バヌアツでの調査で発見。写真と実物を展示します。



ツユクサの「青い花を咲かせる遺伝子」を導入した青いコチョウラン (左上) と白いコチョウラン (右上)。両者を交配してできた第2世代 (下の3輪) をこのたび世界初公開します。



東南アジアの森で見つかった小さな野生ラン、アデノンコス・パルヴィフロラ (*Adenoncos parviflora*)。花王株式会社との共同研究による、この花の香り成分研究から製品が生まれるまでのストーリーを紹介します。実物の香りも体験できます。



当園で研究し新種発表したランのひとつ、トリコグロッテイス・アポエンシス (*Trichoglottis apoensis*)。フィリピン・ミンダナオ島のアポ山で発見し、その後の採集記録はほとんどありません。フィリピン固有の希少種で、初公開となります。